

事後評価調書

I 事業概要																																
事業名	農業農村整備事業（かんがい排水事業）																															
地区名	むらたか 村高地区																															
事業箇所	おかざきし あんじょうし 岡崎市、安城市																															
事業の あらまし	<p>本地区は、愛知県中央部の岡崎市と安城市にまたがり、一級河川矢作川右岸に広がる339.4haの優良な農村地域である。</p> <p>地区内の用水路は1969年度から1971年度にかんがい排水事業により造成されたが、整備後35年余りが経過しており、老朽化による水路の破損や揚水機場の機能低下等が著しいため、管理者は施設の維持管理や用水供給に苦慮していた。</p> <p>このため、用水路を開水路からパイプラインに改修し、農業用水の安定供給、維持管理の軽減により農業経営の安定を図ることを目的として、2006年度からかんがい排水事業を実施し、2015年度に完了した。</p>																															
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>老朽化した用水路を改修し、農業用水の安定供給と、維持管理の軽減により農業経営の安定を図る。</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																															
事業費	事業費		内訳																													
	27.1 億円		■工事費 25.7 億円、■用補費 0.3 億円、■その他 1.1 億円																													
事業期間	採択年度	2006 年度	着工年度	2007 年度	完成年度	2015 年度																										
事業内容	用水路工 6.3km																															
II 評価																																
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>・用水路の改修により用水が安定供給されるとともに、維持管理にかかる労力及び費用が軽減され、農業経営の安定が図られている。</p> <p>①用水の安定供給</p> <p>・作付面積</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作物</th> <th>計画(2005)</th> <th>実績(2020)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水稻</td> <td>198ha</td> <td>193ha</td> </tr> <tr> <td>大豆</td> <td>106ha</td> <td>108ha</td> </tr> <tr> <td>小麦</td> <td>106ha</td> <td>114ha</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>410ha</td> <td>415ha</td> </tr> </tbody> </table> <p>②維持管理にかかる労力と費用の軽減</p> <p>・農家1戸あたり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>維持管理時間 (賦役時間)</th> <th>計画(2005)</th> <th>実績(2020)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>0.8 時間/年</td> <td>0.4 時間/年</td> </tr> </tbody> </table> <p>・維持管理費</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計画(2005)</th> <th>実績(2020)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1,098 千円/年</td> <td>696 千円/年</td> </tr> </tbody> </table> <p>・事前評価時の現況は4.2時間/年。維持管理時間は地元聞き取りによる。</p> <p>・事前評価時の現況は15,564千円/年。維持管理費は地元聞き取りによる。</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>農業用水の安定供給により主要作物が概ね計画どおり作付けされるとともに、維持管理時間及び費用も軽減されていることから、本事業は農業経営の安定に寄与していると評価できる。</p>				作物	計画(2005)	実績(2020)	水稻	198ha	193ha	大豆	106ha	108ha	小麦	106ha	114ha	合計	410ha	415ha	維持管理時間 (賦役時間)	計画(2005)	実績(2020)		0.8 時間/年	0.4 時間/年		計画(2005)	実績(2020)		1,098 千円/年	696 千円/年
	作物	計画(2005)	実績(2020)																													
	水稻	198ha	193ha																													
	大豆	106ha	108ha																													
	小麦	106ha	114ha																													
合計	410ha	415ha																														
維持管理時間 (賦役時間)	計画(2005)	実績(2020)																														
	0.8 時間/年	0.4 時間/年																														
	計画(2005)	実績(2020)																														
	1,098 千円/年	696 千円/年																														

	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>—</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>—</p>																																								
	②事業効果の発現状況	<p>【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】</p> <table border="1" data-bbox="395 365 1442 869"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>事前評価時 (2005)</th> <th>実績 (2020)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">事業期間</td> <td>2006～2012 (7年間)</td> <td>2006～2015 (10年間)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事業費 (億円)</td> <td>工事費</td> <td>20.5</td> <td>25.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償費</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1.3</td> <td>1.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>22.1</td> <td>27.1</td> <td>5.0億円増</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">効果の 算定要因</td> <td>作付面積</td> <td>410ha</td> <td>415ha</td> <td>5ha増</td> </tr> <tr> <td>農家1戸あたり 維持管理時間</td> <td>0.8時間/年</td> <td>0.4時間/年</td> <td>0.4時間/年減</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>1,098千円/年</td> <td>696千円/年</td> <td>402千円/年減</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・効果の算定要因の作付面積は東海農政局統計による。 ・効果の算定要因の維持管理時間及び維持管理費は、地元聞き取りによる。 <p>【事業期間に対する評価】</p> <p>事業期間は鉄道交差部の協議等により3年間延長したが、計画事業期間内に本体工事は概ね完了しており、事業期間の延長による影響を最小限とすることができた。</p> <p>【事業費に対する評価】</p> <p>労務費や資材費の上昇等により事業費を5.0億円増額したが、問題はない。</p> <p>【効果の算定要因に対する評価】</p> <p>作付面積、維持管理時間及び費用の軽減は計画どおりであり、事業効果は概ね計画どおり発現していると評価できる。</p>			事前評価時 (2005)	実績 (2020)	備考	事業期間		2006～2012 (7年間)	2006～2015 (10年間)		事業費 (億円)	工事費	20.5	25.7		用地補償費	0.3	0.3		その他	1.3	1.1		合計	22.1	27.1	5.0億円増	効果の 算定要因	作付面積	410ha	415ha	5ha増	農家1戸あたり 維持管理時間	0.8時間/年	0.4時間/年	0.4時間/年減	維持管理費	1,098千円/年	696千円/年	402千円/年減
		事前評価時 (2005)	実績 (2020)	備考																																						
事業期間		2006～2012 (7年間)	2006～2015 (10年間)																																							
事業費 (億円)	工事費	20.5	25.7																																							
	用地補償費	0.3	0.3																																							
	その他	1.3	1.1																																							
	合計	22.1	27.1	5.0億円増																																						
効果の 算定要因	作付面積	410ha	415ha	5ha増																																						
	農家1戸あたり 維持管理時間	0.8時間/年	0.4時間/年	0.4時間/年減																																						
	維持管理費	1,098千円/年	696千円/年	402千円/年減																																						
	③事業実施による環境の変化	<p>施工にあたり、低振動・低騒音の作業機械を使用するとともに、周辺ほ場排水路を簡易な沈砂池として利用することで濁水の流出を防止するなど、周囲環境に配慮したため自然環境への影響を最小限に抑えることができた。また、開水路をパイプライン化したことにより、水路への転落の危険が無くなり、生活環境の改善が図られた。</p>																																								
III 対応方針（案）																																										
今後の事後評価の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。																																									
改善措置の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、改善措置は不要である。																																									
同種事業に反映すべき事項	鉄道との交差部の施工協議において、施工時の地盤変動による鉄道への影響について、検討及び調整に相当な期間を要したことから、他機関との施工協議を行う際は十分な期間を確保することが重要である。																																									
IV 事業評価監視委員会の意見																																										
V 対応方針																																										